



文部科学省WWLコンソーシアム構築支援事業

“AI活用 for SDGs”

**「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」
～Society5.0に向けたWWLCリーディング・プロジェクト～**

**管理機関 学校法人 関西学院
拠点校 関西学院高等部**

構想概要

期間	ふりがな	がっこうほうじん かんせいがくいん	都道府県番号
2019～2021	管理機関	学校法人 関西学院	28
	ふりがな	かんせいがくいんこうとうぶ	兵庫県
	事業拠点校	関西学院高等部	

構想名

“AI活用 for SDGs”
 「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」
 ～Society 5.0に向けたWWLCリーディング・プロジェクト～

構想概要

関西学院高等部のこれまでのSGH事業の取り組みや教育資源を活用し、「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」のテーマに基づく先進的なカリキュラムの研究開発・実践と、学校法人関西学院による持続可能な取組への支援等による体制整備をしながら、関西学院大学が中心となり、拠点校をはじめとする高等学校等と国外の大学、企業、国際機関等と協働しSociety5.0を牽引するイノベティブなグローバル人材を育成するためのアドバンスラーニングを提供するネットワークを構築する。

拠点校、関西学院高等部の取組は建学の精神であるキリスト教主義教育に基づき、地球と人類に貢献し平和を構築するためのAI活用をテーマに取組を行う。

研究開発・実施体制

		機関名・学校名・情報					
管理機関	学校法人 関西学院						
事業拠点校	関西学院高等部					(私立)	
		学科・コース名	1年	2年	3年	計	学校規模
	対象:	普通科	384	372	377	1133	1133
	対象外:	普通科				0	
事業協働機関 (国内外の大学、企業、国際機関等)	①	(株)リクルートマーケティングパートナーズ					
	②	(株)JTB					
	③	(株)ベネッセコーポレーション					
	④	Classi(株)					

構想概要

事業連携校 (国内外の高等学校等)	①	京都教育大学附属高等学校	(国立)
	②	京都市立西京高等学校	(公立)
	③	大阪教育大学附属高等学校池田校舎	(国立)
	④	大阪府立千里高等学校	(公立)
	⑤	高槻中学校・高等学校	(私立)
	⑥	清風南海高等学校	(私立)
	⑦	関西学院千里国際高等部	(私立)
	⑧	兵庫県立神戸高等学校	(公立)
	⑨	兵庫県立長田高等学校	(公立)
	⑩	西宮市立西宮高等学校	(公立)
	⑪	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	(公立)
	⑫	兵庫県立加古川東高等学校	(公立)
	⑬	兵庫県立姫路西高等学校	(公立)
	⑭	兵庫県立八鹿高等学校	(公立)
	⑮	兵庫県立洲本高等学校	(公立)
	⑯	兵庫県立北摂三田高等学校	(公立)
	⑰	兵庫県立国際高等学校	(公立)
	⑱	白陵高等学校	(私立)
	⑲	奈良県立畝傍高等学校	(公立)
	⑳	広島女学院中学高等学校	(私立)

ビジュアル資料

“AI活用 for SDGs”
 「地球と人類に貢献する
 平和構築のための学び」
 ～Society 5.0に向けた
 WWLリーディング・プロジェクト～

国内連携校
 国内連携校

オンラインにおける「AI活用入門講座
 開講」を通じた連携

RECRUIT
 リクルートマーケティングパートナーズ

国内連携校
 ハンズオン
 ラーニング
 を通じた連携
 に向けて協議中
 福島県
 国内連携校
 関西学院
 千里国際高等部

関西学院・関西学院大学

A Iネットワーク・プログラム

“AI活用 for SDGs” ～Society 5.0に向けたWWLリーディング・プロジェクト～
 (関西学院大学 スーパーグローバル大学)

- 1) WWL・A I 活用人材育成プログラム
- 2) S D G s・地域課題等社会課題を解決するための実践的な学びへの支援、STEAM系の「探究・課題研究」への支援 (講師派遣等)
- 3) アドバンスドプレースメント (単位履修・高大連携科目)
- 4) Harvard College Japan Initiative X 関西学院大学ワークショップ
- 5) 高校生公開討論会 6) 関西学院世界市民明石塾 7) 探究甲子園 (仮称)
- 8) 高校生国際交流のついで 9) テーマに基づく国際会議

(管理機関 関西学院)
 継続を担保する人的・財政的支援

(管理機関 学校法人 関西学院) 継続を担保する人的・財政的支援
 (関西学院大学)
 ハンズオンラーニングを軸とした、平和・SDGsを志向する課題探究型カリキュラムの開発

拠点校：関西学院高等部

研究開発・実践テーマ：“AI活用 for SDGs”
 「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」

- 1) 全学年において文理科目をバランス良く配置し、授業・課外活動双方において、平和やSDGsをキーワードとした、教科横断型で体系的なカリキュラムを開発する。
- 2) 高校1年次は、SGHから継続するGLP (グローバルリーダープログラム) を継続。適性と関心のある生徒を対象とし、知識の修得・活用・探究のバランスを考慮しながら、AI活用・国際協働・ハンズオンラーニングの基礎を学ぶ。
- 3) 高校2年次には、1年次のGLPメンバーを核として、「AI活用演習」「グローバルスタディ」「ハンズオンラーニング」等を必修選択科目として開講し、対象となる生徒を増やす。大学教員・外国人講師もそれら授業を担当する。
- 4) 高校3年次には、選択科目として高校2年次の発展形を用意し、更に対象生徒を増やす。国内・海外でのフィールドスタディ等を踏まえ、連携校とそれぞれの知見を活かし、平和構築に向けた国際シンポジウムを開催する。
- 5) ICT環境を活かし、全ての生徒が授業・課外活動双方において効果的にeポートフォリオを活用する。質の高いeポートフォリオによる振り返りを重ね、次の活動につなげるよう導くことで、生徒の主体性を育んでいく。
- 6) 海外の高等学校とのフィールドスタディを含めた英語での探究活動や、インターナショナルスクール等との国内外での研修等がカリキュラムの中に体系的に位置づけていく中で、海外大学進学等を含めた多様な進路を視野に入れる。
- 7) 関西学院大学による、選択科目としての様々な講座提供により、文系理系を問わずより高度な内容を学びたい高校生が学習できる環境整備を行う。なお、その際一部の科目については、関西学院大学による単位認定も可能とする。

JTB
 GLOBAL LINKを通じた連携

インドネシア
 ハラピン高校
 連携校

オーストラリア
 カンボジア
 連携校

Benesse Classi
 eポートフォリオを活用
 した主体性評価を通じた
 海外連携校との連携

グローバルな社会課題研究としてのテーマ設定

“AI活用 for SDGs”

「地球と人類に貢献する平和構築のための学び」

～Society5.0に向けたWWLCリーディング・プロジェクト～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



Society 5.0
ソサイエティ



AI活用人材育成
プログラム

関西学院大学による先進的なカリキュラムの 研究開発・実施体制

A L ネットワーク・プログラム

“AI活用 for SDGs ” ～Society 5.0に向けたWWLCリーディング・プロジェクト～

(関西学院大学 スーパーグローバル大学)

- 1) WWL・AI 活用人材育成プログラム
- 2) SDGs・地域課題等社会課題を解決するための実践的な学びへの支援、STEAM系の「探究・課題研究」への支援（講師派遣等）
- 3) アドバンスプレースメント（単位履修・高大連携科目）
- 4) Harvard College Japan Initiative X 関西学院大学ワークショップ
- 5) 高校生公開討論会
- 6) 関西学院世界市民明石塾
- 7) SGHXWWL 探究甲子園（仮称）
- 8) 高校生国際交流のつどい
- 9) テーマに基づく国際会議

AI活用 for SDGs ワークショップ

【実施日時】

8月1日（水） 10:00～17:00 予定

【実施場所】

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス
中央講堂・G号館IS204～208教室・IS105～107

【実施対象】

拠点校・連携校の生徒対象
※募集人数：約200名

【実施目的】

拠点校、連携校生徒のWWLCリーディングプロジェクト校、連携校の高校生を中心に、“AI活用 for SDG アップに資するワークショップを実施する。

【実施内容】

- 「AI活用 for SDGs」 についての講演実施
（担当 AI：巳波 弘佳 教授
SDGs：神余 隆博 教授）
- 「AI活用 for SDGs」 についてのグループワーク・発表



皆さんのアイデアで、世界が抱える問題を、AIを用いて解決しましょう！

世界は、貧困・飢餓・環境汚染など多くの問題を抱えています。
一方、AI（人工知能）は近年急激に進化し、私たちの社会を変えつつあります。
SDGs（国連サミットで採択された持続可能な開発目標）の実現に向けて、
AIをどのように活用できるか考えてみませんか？

【実施概要】

- 第1部(9:30～12:00)：基調講演、講演
SDGsについて、AI活用について
- 第2部(13:00～16:00)：グループワーク(少人数チームに分かれて) ※現役学生がサポート!!
- ①ディスカッション AIを活用したSDGsの課題解決策について
②発表 ディスカッションのまとめをチームで発表

【参加方法】

高等学校の先生にご相談ください。

主催  関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

関西学院 世界市民明石塾

【実施日時】

2019年8月6日(火)～8月8日(木) 2泊3日
※合宿形式 ※原則全日程に参加

【実施場所】

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス・スポーツセンター

【実施対象】

S G H校・WWL校を中心とする
全国の高校1～3年生 ※定員：30名 ※選考あり

【実施内容】

SDGsのGoal2（飢餓をゼロに）、Goal3（すべての人に健康と福祉を）、Goal6（安全な水とトイレを世界中に）をテーマに、明石康塾長（元国連事務次長）による基調講演や、現役国連職員とのディスカッション、カードゲームを通してSDGsへの理解を深め、SDGsを実現するプロセスの体験や、参加者同士での英語・日本語によるディベート等を実施。スペシャルゲストも登場予定。

【講師】

神余 隆博 国連・外交統括センター長（元駐ドイツ大使、元国連大使）
久木田 純 SGU招聘客員教授（前国連児童基金（UNICEF）駐カザフスタン代表）
マッケンジー クラグストン 特別任期制教授（前駐日カナダ大使）
鈴木 大樹 （一社）グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)
シニア・ダイバーシティ・ファシリテーター



AI活用人材育成プログラム

【受講開始】

9月中旬を予定
※プログラムの都合上変更の可能性あり。

【受講対象】

拠点校・連携校の生徒対象 ※無料

【受講方法】

オンラインにてストリーミングで受講
※リクルート株式会社と連携し、スタディサプリを活用する。

【実施目的】

各校の生徒がAI・データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決する能力を文系・理系を問わず涵養すること。

【実施内容】 ※予定

- ・ 1講座15分程度の動画×10回
- ・ 1講座終了ごとに確認テストを実施



講師派遣等

【実施開始】

随時 ※教員の都合上、派遣できない可能性あり

【実施対象】

拠点校・連携校の生徒対象

【実施目的】

- ・ S D G s ・ 地域課題等社会課題を解決するための実践的な学びへの支援
- ・ STEAM系の「探究・課題研究」への支援（講師派遣等）

【実施方法】

本学教員・大学院生・学生を高等学校に派遣、あるいは生徒に本学い来学頂き、講義や助言等を行う。



リサーチフェア ～高校生課題研究発表～

【実施日時】

2019年11月15日(金)～11月16日(土)

【実施場所】

関西学院大学 神戸三田キャンパス

【実施対象】

S G H校・WWL校・SSH校を中心とする
全国の高校1～3年生・大学生・大学院生
※応募多数の場合、選考あり



【実施内容】

高校生・大学生・大学院生が日頃の研究成果を発表する『知』の祭典として毎年開催。研究成果の発表だけでなく、研究をさらに深めるため、研究内容について議論することにも重きを置いている。

【発表形式】

口頭発表 発表15分・質疑応答10分（計25分）

ポスター発表 約1週間前から事前掲示（必須）

自由形式発表 テーマ・形式は自由

※教員・大学院生・大学生などによるフィードバックあり

【実施主体】

関西学院大学 総合政策学部



サイテックリサーチフォーラム ～高校生課題研究発表～

【実施日時】

2019年11月23日(祝日)

【実施場所】

関西学院大学 神戸三田キャンパス

【実施対象】

SSH校・WWL校を中心とする
全国の高校1～3年生
※応募多数の場合、選考あり



【実施内容】

理工学部の取り組みのひとつである「SCI-TECH RESEARCH FORUM 2019（課題研究発表会）」では、課題研究などに取り組んだ高校生の研究発表と本学の大学生・院生による研究発表、研究者も交えた交流の場を提供し、今年度で5回目を迎える。

【プログラム内容】

- ・トピック講演（昨年はAIに関する講演）
- ・オープンラボ -研究室見学-
- ・高校生による課題研究内容に関するポスター形式の発表（形式：1回20分複数回実施）
※教員・大学院生・大学生などによるフィードバックあり

【実施主体】

関西学院大学 理工学部

高校生公開討論会 ～課題研究を通じた討論～

【実施日時】

2020年1月下旬

【実施場所】

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

【実施対象】

S G H ・ W W L 校対象

【実施内容】

- ・ 基調講演 葉田 甲太 氏（医師 NPO あおぞら代表）※2019年実績
甘利 明 氏（衆議院議員 元経済産業大臣）※2018年実績
小池百合子 氏（東京都知事 元環境大学）※2017年実績

- ・ 公開討論会（司会進行：關谷 武司（関西学院大学 国際学部教授））

E U インスティテュート関西(神戸大学・関西学院大学・大阪大学)等と共催で行う高校生による公開討論会。昨年は、大阪・北野高校、兵庫・長田高校、関西学院高等部、関西学院千里国際高等部の4校の高校生が「グローバル化する世界で生きていく君に問うーわたしたちは何を学ばなければいけないのかー」をテーマに、討論を行った。



ハーバード大学との交流事業

【実施日時】

2020年1月上旬 ※3日間開催

【実施場所】

- ① 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス
- ② グランフロント大阪（昨年実績）

【実施対象】

- ・ 関西学院大学生
- ・ ハーバード大学生
- ・ S G H ・ W W L 校1～3年生 ※定員：15名程度（選考あり）

【実施内容】

開発途上国での経験を積んだ関西学院大学の7名の学生と、様々なバックグラウンドで専門性を高めるハーバード大学の6名の学生が、世界のあらゆる問題についてディスカッションを行う事業。昨年で4回目の実施となり、高校生15名、スペシャルゲスト5名、一般観覧者約220人（約50名の高校生を含む）を巻き込み、大阪で「SDGs×Kansai」をテーマにイベントを実施。

1日目、2日目は、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスにて、村田 俊一教授による講義や、大学生と高校生によるディスカッション、プレゼンテーションの作成を行った。最終日の1月6日のイベントでは関学生・ハーバード生・高校生がタッグを組み、関西のSDGs課題の解決案をプレゼンテーションを実施。その後「関西のSDGs課題をどう解決するか」をテーマにしたパネルディスカッションを、JICA関西や四條畷市市長など4名のゲストとともに実施した。

また、「産官学」の三つの領域から関西のSDGsに関する団体を誘致したロビーブースも設置し、様々な視点からSDGsと関西、そして日本の課題を考える時間となった。



SGH×WWL 探究甲子園

※内容は、今後大きく変更される可能性があります。

【実施日時】

2019年3月21日(土)

【実施場所】

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

【主催】

関西学院大学・大阪大学 ※共催等は現在検討中です。

【実施対象】

全国のSGH・SGHアソシエイト・WWL関連校等※

※対象校については、現在検討中です。

【実施目的】

口頭やポスターでの発表、グループディスカッションを通し、日頃の探究の深化および学習や進路選択に関する意欲を高め、問題解決能力やプレゼンテーション能力の向上を図る機会を提供すること。また、全国各地から集結した高等学校とともに発表することにより、お互いに刺激を受けながら切磋琢磨し、共にグローバル社会におけるリーダーとなっていくことを期待する。

【実施内容】

- ・ 探究成果プレゼンテーション ※予選あり 発表15分・質疑応答5分
- ・ 探究成果ポスタープレゼンテーション ※予選あり 発表5分
- ・ ラウンドテーブル型ディスカッション ※予選あり ディスカッション45分・発表10分・講評5分

※大学教員・高校教員・大学院生などによる評価・フィードバックあり



拠点校：関西学院高等部による 先進的なカリキュラムの研究開発・実施

AI活用 for SDGsをキーワードとする 課題探究型カリキュラムの開発

(関西学院高等部)

- 1) 「AI活用演習」「グローバル探究」「ハンズオンラーニング」の各科目を新設
- 2) 関西学院大学における単位の先取り履修体制の拡大。
- 3) 生徒の興味関心に対応した、様々な選択科目の拡充。
- 4) カリキュラムの中での、留学・海外交流の位置づけを強化。
- 5) 文理融合型カリキュラムの拡充。
- 6) 海外現地校や留学生との、英語での探求活動の実施。
- 7) それぞれの探究活動による知見を持ち寄る国際シンポジウムの開催

文理融合された「グローバル探究」等の新たな教科・科目の設定

1) 全学年において文理科目をバランス良く配置し、授業・課外活動双方において、平和やSDGsをキーワードとした体系的なカリキュラムを開発。

例) 今年度高2 6月 SDGsをキーワードとした宿泊行事

2) 高校1年次は、今年度9月より、GLP（グローバル・リーダープログラム）を実施。適性と関心のある生徒を対象とし、知識の修得・活用・探究のバランスを考慮しながら、AI活用・グローバル探究・ハンズオンラーニングの基礎を学ぶためのプログラムを準備・実施する。

3) 高校2年次に、1年次のGLPメンバーを核として、対象生徒を増やし、「AI活用演習」「グローバル探究」「ハンズオンラーニング」等を必修選択科目として開講する。

4) 高校3年次に、選択科目として高校2年次の発展形を用意し更に対象生徒を増やす。

大学教育の先取り履修の実施体制

拠点校においては、すでに一部で関西学院大学による先取り履修を可能とする体制を構築しているが、今後WWLを機会に拡充していく。

また、関西学院大学は2003年より「高大連携規程」に基づき、国、地方自治体、学校法人等が設置する高等学校等(以下「高校等」)に在学する生徒(以下「高校生」)を大学の授業に受け入れるために「高大連携科目」を設置している。

特定分野に強い興味・関心を持ち、高等教育を受ける能力と意欲を有する高校の生徒に、本学の授業を履修する機会を提供し、高校教育の活性化を図ることを目的としている。

今後WWLに関連する高等学校の生徒を対象とする規程改正を検討する。

より高度な内容を学習できる環境整備

拠点校においては、高3時の選択科目において、関西学院大学や外部と連携しながら、情報処理技術や数理社会学・心理学・社会学等大学各学部の入門科目、ドイツ語・フランス語・中国語といった第二言語、外国人講師による英語での体育実技や陶芸・器楽等、生徒の興味関心に合わせ、様々な分野における高度な学びを提供していく。

また、関西学院大学10学部・1センターの提供による様々な高大連携プログラムを一層充実させて大学での学びの機会を増大させる。

留学・海外研修等の体系的な位置づけ

海外の高等学校とのフィールドスタディを含めた英語での探究活動や、クラブ活動を通しての海外留学・研修、また、インターナショナルスクール等との国内外での研修等をカリキュラムの中に体系的に位置づけていく中で、海外大学進学等を含めた多様な進路を視野に入れるための準備を行う。

各教科バランスよく学ぶ教育課程の編成

関西学院高等部は生徒の90%を超える生徒が関西学院大学へ進学する環境のため、理工学部への進学者のために2年次より文系、理系のコース分けがあるが、文系でも3年間に数学11単位、理科8単位の授業の受講、一方理系では国語科8単位、公民科2単位、地理歴史科5単位の授業の受講が義務付けられている。体育も文系、理系とも9単位、芸術も音楽、美術とも学ぶカリキュラムとなっている。

WWLを機会に、更に文理融合型のカリキュラムとしていく。

生徒が留学生等と一緒に英語等で授業・探究活動等を履修するための学校体制

高3の選択科目を通じて、毎週インドネシアの現地校の生徒と本校の生徒がグループとなり、それぞれが設定した課題について、英語でPBL型の授業を実施している。さらにその場に大学生や企業関係者が入る等して更にプログラムを拡充していく。

留学生については、AFS、YFU、JFIE、および海外提携校からの留学生を受け入れているが、引き続きその体制を維持する。留学生には従来通り、WWLの必要なプログラムでの参加を求め、英語で生徒と学ぶ場を設ける。関西学院大学提供のテーマに基づく学びを行う高校生国際交流のつとにも関西学院高等部生と共に留学生が参加する。

国内外の高等学校との連携した高校生国際会議等の開催

関西学院大学、関西学院高等部、海外連携校、株式会社JTB等が核として協働し、兵庫県・広島県・福島県等において、他の国内外の高等学校等をオンライン・オフライン両方で繋いで、それぞれが探究してきた知見を持ち寄り、平和構築のための国際シンポジウムを開催することを予定している。